

地域おこし協力隊が三原で過ごす日々

みはライフ!

市外から移住して来た9人の隊員が、地域課題の解決に向けて活動中!



今月の担当は
麻倉 良一
です!

【出身】広島県安芸郡
【趣味】キャンプ&釣り
【活動エリア】久井町
【活動テーマ】宇根山家族旅行村の魅力向上と発信



▲愛犬のナギ(4歳♀柴犬)と ▲ワンちゃんも宇根山でキャンプ

「三原のまちで わんだーランド計画!」

テレビ番組ディレクターを務めながら、久井町にある宇根山家族旅行村の魅力向上と発信をテーマに活動しています。

着任以来、キャンプにまつわることを中心に取り組んできましたが、令和7年に入ってから、少し間口を広げて三原市の関係人口を増やすことをテーマに掲げて活動しています。その一つが「三原市わんだーランド計画」です。

例えば「ペットツーリズム」。オスメのおさんぽコースを選定したり、一緒に食事や宿泊ができる場所をつくったり! 愛犬家が訪れてみたくなる仕掛けを考えています。

現在、宇根山キャンプ場に、ワンちゃんトリードなしで楽しめるサイトの建設も予定しています。

私は、ワンちゃんをきっかけに市の魅力を広めることができると信じています。三原を「ナンバーワン」のまちへ!

地域おこし協力隊の活動は市公式noteで!



☎ 地域企画課
☎ 0848-67-6011

あんしん通信

事故や犯罪、ゼロカーボンやごみに関する情報など、生活に役立つ情報をお届けします。

☎ 環境施設課 ☎ 0848-62-4197 FAX 0848-67-6069

【その11】

食品ロスを減らそう!

フードドライブに協力して「もったいない」を「ありがとう」に

食べ残しや期限が切れた食品を捨てる時、「もったいない」と感じていますか。市内の家庭から出るもやすぐみには、1人当たり年間約19kgの食べ残しや手が付けられなかった食品などの食品ロスが含まれます。

食品ロスを出さないためには、「いらぬ食品を買わないこと」。買い物前に冷蔵庫の中を確認し、計画的な買い物を心掛け、買った食品は「残さず食べ切ること」。賞味期限・消費期限を把握しましょう。

それでも食べ切れない食品がある場合は、フードドライブへの寄贈にご協力ください。フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、必要とする人に届ける活動のこと。フジグラン三原1階の食品館に回収ボックスを設置しています。集まった食品は子ども食堂や福祉施設、生活困窮者などに寄付しており、感謝の声をいただいています。フードドライブに皆様のご協力をお願いします。



FUJI X 三原市社会福祉協議会 X 三原市
フードドライブは三者連携事業として実施しています。

令和7年のSNS型投資詐欺 ・SNS型ロマンス詐欺発生状況

● 広島県内 ()は前月比
発生件数: 123件 (+25件)
被害総額: 約10億2,649万円 (+1億893万円)

● 三原警察署管内
発生件数: 3件 (+1件)
被害総額: 約827万円 (+233万円)

※令和7年5月末。

今月のポイント

- 計画的に買い物をしよう
- 食品は残さずに使い切ろう
- 余った食品はフードドライブに寄贈しよう

フードドライブの対象食品はこちら



市HP

市長 × 戦後80年

平和への思いを
つなぎましょう

市長として、三原市および広島市で開催される平和記念式典に参列いたします。犠牲となられた人々に深く哀悼の意を表し、平和を守り抜いていくことの誓いを新たにします。市民の皆さんも、平和の尊さについて思いをはせる時間を持ってみてください。平和は、与えられるものではなく、守っていくものです。私たちの暮らしている

令和7年は、終戦と広島・長崎への原爆投下から80年という節目の年にあたります。あの惨禍から80年。今もなお癒えぬ傷が多くの人々の胸に残り続けていることを、私たちは忘れてはなりません。私自身、中学生の頃の夏休みに、当時存命だった祖母に戦時中の話を聞いたことがありますが、中でも忘れられないのは、戦地から戻ることのなかった人の話です。遺骨の戻らぬまま行われた葬儀。その寂しさを語る祖母の表情が、今も私の心に深く残っています。

私たちがこつとして平穩に暮らし、地域の伝統や文化を楽しめるのも、全て平和があつてこそです。三原の夏の風物詩である「やつさ祭り」は、今年で第50回を迎えます。この節目を市民の皆さんと共に祝い、このまちの元気を、次の世代へとつないでいきたいと考えています。

にある「当たり前」が、いかに尊く、ありがたいものか、今一度、心に刻む夏にしましょう。



三原市平和記念式典



▲被爆80年史「ヒロシマを語り未来へつなぐ」
(三原市原爆被害者之会)

Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の
国際交流員コラム

● Vol.23 ●



CIR (国際交流員)
ジェイク・ロコップ



カンタベリー地方にある羊牧場

ランピングシーズン

子羊の季節“Lambing Season”の到来

“Lambing”とは、「子羊 (lamb) の出産」という意味です。ニュージーランドでは、春が始まる9月に先立ち、8月頃から子羊が次々と生まれ始め、2024年には、約1,920万頭もの子羊が誕生しました。日本でつくしを見掛けると春の訪れを感じるように、ニュージーランドでは、牧場に子羊の姿が増えてくることで、季節の移り変わりを感じます。

私の地元カンタベリー地方はニュージーランドの南島にあり、国内で最も羊牧場が多い地域として知られています。驚かれるかもしれませんが、実家が農業を営んでいる友人をはじめ、羊をペットとして飼っていた人もいました。私は羊を飼ったことはありませんが、時々友人の牧場を訪れ、子羊に餌をあげたり、一緒に遊んだりして、楽しい時間を過ごしました。

知ってる?

ニュージーランド

羊の数が人口より多い国

昔からニュージーランドは「羊の数が人口より多い国」として知られています。1856年から130年にわたり羊の飼育が主要産業であったため、羊の数は常に人口を上回り、1982年には羊の数が人口の22倍という過去最高値を記録しました。

Information for foreign
nationals in Mihara

◀ CIRが三原の
魅力などを発信中! ▶

Instagram & Facebook



◀ Instagram

Facebook ▶



●多言語相談窓口(市役所本庁4階)

問 経営企画課 TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101